

(科目コード：2006920128AA)

【改訂】第3版(2019-02-27)

【科目】経済思想

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】選択 【学期・単位数】後期・2単位

【対象学科・専攻】生産システム,環境 1年

【担当教員】馬渡 玲欧

### 【授業目標】

経済思想の概念を理解し、その内容を説明することができる。

経済思想の内容を吟味し、自身の考えを示すことができる。

経済思想の学習内容を用いて、過去から未来までの社会のあり方を考えることができる。

### 【教育方針・授業概要】

この講義では、過去から現在に連なる、経済にまつわる制度や行為、現象などを理解することを目指します。そのための手がかりとして、経済学を中心とした社会科学の研究において歴史的に展開され蓄積されてきた思考方法や概念、理論を参照し、学習していきます。この目的を達成することで、過去・現在において人々が社会のなかでどのように生計を立て、生活し、生存してきたかを把握する知識や視座を用意できればと思います。講義は科学技術の発展や環境経済学などの現代的なトピック、またグローバル化下での日本や東アジアの経済動向も射程に収めながら進めます。受講者の将来の生活や職業を構想するための手がかりにもなることでしょう。

### 【教科書・教材・参考書等】

教科書は指定しません。毎回、授業のなかで資料を配布します。

参考書：

桑田学，2014，『経済的思考の転回 世紀転換期の統治と科学をめぐる知の系譜』以文社．

中山智香子，2010，『経済戦争の理論 大戦間期ウィーンとゲーム理論』勁草書房．

中山智香子，2013，『経済ジェノサイド フリードマンと世界経済の半世紀』平凡社．

松原隆一郎，2001，『経済思想』新世社．

ジョヴァンニ・アリギ，2011，『北京のアダム・スミス 21世紀の諸系譜』作品社．

### 【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

パワーポイント、レジュメ、板書による講義形式です。授業ごとにリアクション・ペーパーを提出してもらいます。

また、テーマに応じて、視聴覚資料を用いたりディスカッションなどを行ったりします。

### 【メッセージ】

・授業期間内は、時事的な報道もこまめにチェックするようにしましょう。

・地歴公民に関する基本的な用語や話の流れについても随時補足しながら進めていきたいと思えます。

### 【成績評価方法】

[後期]期末試験：80%，授業への積極性・課題（リアクションペーパー）など：20%

### 【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	経済思想の概念を理解し、その内容を説明することができる。	50 %	期末試験40%、授業後課題10%の割合で評価する。
2	経済思想の内容に関して自身の考えを示したり、現代社会の様々な課題について学習内容を応用することができる。	50 %	期末試験40%、リアクション・ペーパー10%の割合で評価する。

### 【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、多種多様な人間文化と社会生活を理解するとともに、ものごとに対して多角的観点から考察できる力を涵養する

### 【JABEE評価】

(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養

【授業計画】（経済思想）

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	イントロダクション	授業概要、経済思想を学ぶ視点・意義を確認します。		
第2回	経済史序論	資本主義経済の始まりまでの経済史を概観します。		
第3回	労働と分業	アダム・スミスの分業論を通して、社会のなかでの労働とは何か、その基本的なあり方を学びます。重商主義の背景も確認します。		
第4回	救貧法批判の展開	マルサスの人口論などを学びながら、貧困の公的救済のあり方について考えます。		
第5回	社会主義とマルクス	空想的社会主義、マルクスの古典派経済学を受容や唯物史観、後の歴史への影響を学びます。		
第6回	社会改良主義と社会政策	イギリスのフェビアン協会（ウェップ夫妻など）の社会改良主義や、ドイツの社会政策の動向（シュモラー、新歴史学派）を学びます。		
第7回	資本主義の発展	ヴェーバーやゾンバルトの議論から資本主義を把握する方法を学びます。		
第8回	福祉国家の成立	ケインズ主義的福祉国家について学びます。賃金労働におけるフォードイズムやテイラー主義についても扱います。		
第9回	世界大戦と経済思想	大戦間期のオーストリア学派の経済思想を学びます。総力戦体制論や生産力理論についても扱います。		
第10回	産業社会（論）の展開	ヴェブレン、ガルブレイス、ドラッカー等の産業社会論について時代背景と共にその意義を学びます。		
第11回	新自由主義の勃興	福祉国家の変容と新自由主義政策の展開を学びます。ハリエクやフリードマンの思想も取り上げます。		
第12回	世界システム論と東アジア	ウォーラステインやアリギの世界システム論を確認しつつ、そこでの東アジアの位置づけを検討します。		
第13回	経済思想と現代社会1	環境経済学的な発想の端緒としてのオットー・ノイラートの諸説を検討します。		
第14回	経済思想と現代社会2	科学技術の発展と経済の関わりについて、タルド、シュンペーターのイノベーション論を参照しながら検討します。		
第15回	日本の経済・経営思想	これまでの講義を振り返りつつ、講義内で取り上げられなかった明治以降の日本の経済・経営思想を確認します。		